

《令和3年度阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業》  
第1回ケアカフェ（多職種連携研修会）

開催日：令和3年6月29日（火）

時 間：16:00～18:15

場 所：阿南医療センター講堂

会議名：令和3年度 第1回ケアカフェ

目 的：多職種が顔の見える関係づくりの構築及び連携強化。

参加者：48名

居宅介護支援事業所ケアマネジャー、お世話センターケアマネジャー、  
阿南医療センター医師・看護師、阿南市地域共生推進課職員、  
阿南市在宅医療・介護連携支援センター職員

挨 拶：阿南市地域共生推進課 日下浩之課長

阿南医療センター 玉置俊晃院長



地域共生推進課 日下課長



阿南医療センター 玉置院長

【講義1：感染対策のキホン】

講師：阿南医療センター感染対策室 看護主任 原崎 友香氏

介護現場における感染対策の基本と新型コロナウイルス感染症について講義を頂いた。阿南市内の65歳以上の人口割合は33.5%と高くなっており、医療・介護利用者の重度化やスタッフの負担が増加している。

感染対策は個人で頑張るものでなく組織で協力し、平時から行い継続することが重要。感染対策の3つの柱は①病原体の排除 ②感染経路の遮断 ③宿主の抵抗

力の向上である。特に②における感染対策のキーワードで感染源となる病原体を「持ち込まない」「持ち出さない」「広げない」は常に意識することが重要である。

まとめとして、標準予防策とは何かを正しく理解し、全職員で遵守・徹底できるように取り組んでいくことが必要である。



## 【講義 2：グループワーク】

グループワーク形式で、講義 1 で学んだことを踏まえ、自施設での課題や改善策について話し合った。8 班に医療従事者と各事業所ケアマネジャーが均等に分かれ、自己紹介（自己PRを含める）を行い、有意義な話し合いができた。

新型コロナウイルス感染症対策としてリモート面会や職員が感染疑いの場合の勤務について等の情報交換も行った。



各班の発表を受け、班での話し合い・自事業所に無い考え方や対応を知ることで、今後の業務・対応の安心に繋がったとの意見もあった。また、このようなケアカフェに今後も是非、参加したいとの要望もあった。

阿南医療センターの寺嶋先生よりこのカフェで構築した関係で、医療と介護の連携による住民への安心を届けようと力強いお言葉があり、団結に繋がった。

## 【総評】

コロナ禍でなかなか会うことができない、名前は知っているが顔が分からない医療や介護に携わる方々と直接会ってコミュニケーションを図ることで連携ができ、地域住民の皆様が在宅での生活が長く継続できるよう、専門性を高める良いケアカフェとなった。

感染対策として、阿南医療センター職員のご協力により阿南医療センター玄関・入館窓口・会場入り口と3か所で検温及び消毒の徹底をして開催した。

今後も感染症対策等を徹底し、顔の見える関係づくりで、強固たる連携構築を目指す。



## 【研修会風景】



※研修資料の配布を希望される方は阿南市在宅医療・介護連携支援センター

「[anda@kenshokai.group](mailto:anda@kenshokai.group)」へメールにてご連絡ください。

担当：センター長 湯浅 祐司